



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.7

令和元年5月7日

文責：校長 伊藤孝行

穏やかに「令和」を迎えました。

10連休も終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。

令和になって初めての今朝の登校の様子は、眠そうな顔や足取りが重そうな子どももいましたが、多くの子どもは、久しぶりに友達に会えることが楽しみな様子から笑顔で登校してきました。



「大化」から248番目にあたる「令和」という年号は、万葉集「梅花の歌三十二首」の序文のなかに出典があります。

「初春令月、気淑風和、

梅披鏡前之粉、蘭薫珮後之香」

初春の令月にして、気淑く風和ぎ、梅は鏡前の粉を披き、蘭は珮後の香を薫らす

この元号には、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が生まれ育つ」という願いが込められています。

開成小学校でも、子どもたちが美しく心を寄せ合い、よりよい学校文化が生まれ育つよう、気持ちを新たにしていきたいと思います。

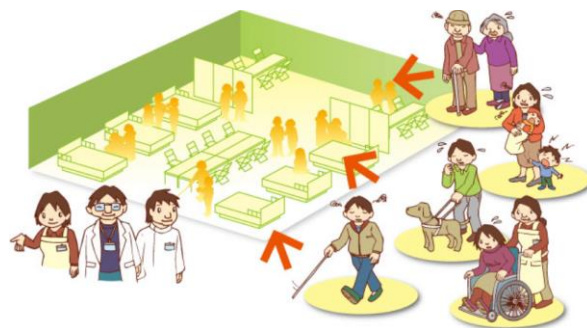
平成の時代に育っていた「心」と態度

平成は気候変動が大きく、多くの自然災害が発生した時代でした。しかし、われわれ日本人は自然災害に屈することなく、すぐに復興へ足を進めてきました。

- ・平成元年 雲仙普賢岳噴火
- ・平成7年 阪神淡路大震災
 - * ボランティア元年となった。
- ・平成23年 東日本大震災・原発事故
 - * 「絆」という言葉で連帯を深めた。
- ・平成28年 熊本地震

・平成30年 西日本豪雨

平成に入ってから「ボランティア」が身近になりました。東日本大震災の時、ビックパレットに多くの人が避難しました。



当時の教え子や卒業生は、友達と声を掛け合い絵本を持って読み聞かせに出かけたり、清掃用具を持ってトイレ掃除に出かけたりを「普通」にしていました。

誰かに指示されることなく、自分でできることをやろうとする気持ちが多くの子どもたちに育っていたことに驚きを覚えました。

平成の時代は、日本各地で自然災害に苦しみました。子どもたちの中に「人を思いやり」それを実行する力が育っていた時代でもありました。

無くなった職業と生まれた職業

以前、今の小学生の65%は現在存在していない職業に就くということを述べました。

国勢調査の結果、それを裏付ける資料がありましたので紹介します。

【平成時代に無くなった仕事】

- ・タイピスト
- ・ワープロ操作者
- ・速記者学校講師
- ・預貯金集金人
- ・ミシン販売員
- ・場立人

【平成時代に生まれた職業】

- ・ネイリスト
- ・システムコンサルタント
- ・心理カウンセラー（医療・福祉）
- ・リサイクルショップ

身の回りを見ても、個人経営の店（八百屋、魚屋、喫茶店）などは、見かけなくなっています。時代と共に職業も移り変わるのでね。